

黒田浄水場監視装置設置工事
公募型プロポーザル方式による優先交渉権者選定基準

この基準は、公募型プロポーザル方式により、黒田浄水場監視装置設置工事の優先交渉権者を決定するため、提案書提出業者から提出された技術提案書の内容を、可能な限り客観的に評価するための基準として示す。

1 提案内容

評価項目・内容及び配点は、図－１、図－２のとおりとし、（３）は価格評価とする。

図－１ 評価項目・配点表

評価項目	審査項目	配点	備考
（１）書類評価項目	①納入実績について ②公的認証の取得について	25	証明する書類の添付が必要である。
（２）技術評価項目	③データセンターに関する提案 ④ソフトウェアに関する提案 ⑤サポート体制・使用回線・その他についての提案	255	全委員の評価がEの審査内容が２つ以上で失格となる。
（３）価格評価項目	⑥事業費に関する提案	60	0 円の提案は失格となる。
合 計		340	各委員の評価点の平均が満点の４割以下は失格となる。

図－２ 審査項目・審査内容及び配点（詳細）

審査項目	審査内容	配点
①納入実績について		15
クラウド監視装置納入実績について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案者の令和2年4月1日以降に納入完了したクラウド式監視システム導入実績数について（下水道の監視装置は含まない） ・ 今回提案するクラウド式監視ソフトの最長継続実績について（下水道の監視装置は含まない） 	15
②公的認証の取得について		10
情報セキュリティに関する公的認証の取得数について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案者の情報セキュリティに関する公的認証の取得数について ・ データセンターの情報セキュリティに関する公的認証の取得数について 	10
③データセンターに関する提案		25
データセンターの災害対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・ データセンターの停電対策について ・ 地震・火災風水害対策について ・ その他災害等に対する対策や取り組みについて 	15
データセンターの信頼性・セキュリティ対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害が発生した際の機能復旧に対するデータセンターの体制について ・ その他セキュリティや障害に対する対策や取り組みについて 	10
④ソフトウェアに関する提案		160
基本機能について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監視に必要な環境について ・ 監視画面の見やすさについて（文字の大きさ、配色等） ・ アカウント毎の権限設定（各種機能の制限）が可 	25

	<p>能かどうかについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回線が切断した場合の対策として、現場機器のデータ保存期間について 	
フロー画面について	<ul style="list-style-type: none"> ・フロー画面から確認出来る内容について ・フロー画面の更新頻度について ・フロー画面からトレンドグラフへの画面切替について 	20
トレンド画面について	<ul style="list-style-type: none"> ・（リアルタイム）トレンドの更新頻度について ・時間軸（横軸）変更の自由度について ・トレンドの保存期間について（どこまで遡ることができるか） ・任意の別日とトレンドグラフの比較が出来る機能について 	25
警報機能について	<ul style="list-style-type: none"> ・中央操作室での通知方法について ・メール通知のON-OFFや通知先選択機能について ・水位や流量の揺らぎ等で短時間で警報の発生と復帰が頻発しないようにする対策について ・アナログ信号から任意の閾値で警報を発生させる機能について ・警報履歴（イベント機能）の保存期間や検索機能について 	30
帳票機能について	<ul style="list-style-type: none"> ・帳票の保存形式について ・帳票の異常データ修正方法について ・帳票の内容変更や決裁欄の追加等のフォーマット変更の方法について ・企業団の運用に合わせた印刷用日報の作成について 	30

その他機能について	<ul style="list-style-type: none"> ・メモ機能等の情報共有機能について ・その他維持管理に役立つ機能について <p>例：送水流量・配水流量・配水池水位の変動からポンプ劣化や送水管の漏水を検知する等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウド監視システムに追加や連携可能な拡張機能（Webカメラや施設台帳システム等） 	30
⑤サポート体制・使用回線・その他についての提案		70
機器故障が発生した場合のサポート体制について	<ul style="list-style-type: none"> ・故障時の部品調達に要する時間について（主要部品） ・故障時の対応体制について ・現場機器の停電・雷に対する対策について 	25
使用回線について	<ul style="list-style-type: none"> ・提案する回線の種類について ・提案する回線の通信頻度について ・提案する回線で通信障害が発生した時の回線業者側の対応体制について 	25
その他について	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔制御が可能かどうかについて（今回は行わない。遠隔制御内容は運転モード変更、薬品注入率変更程度） ・選択可能な回線の種類について（今後拡張する際の選択肢がどの程度あるか） ・物価上昇等により通信費等の経費が上昇した際の利用率へのスライド方法、タイミング等の方針について 	20
⑥事業費に関する提案		60
本工事の費用	<p>今回対象の工事費用 について（黒田浄水場のみ）</p> <p>（費用の内訳が分かるように具体的かつ簡潔に記</p>	10

	載すること)	
本工事後のランニングコスト	20年間の維持費用（黒田浄水場のみ） 利用料＋回線料＋機器更新費用 （費用の内訳が分かるように具体的かつ簡潔に記載すること） （機器については最低15年に1回更新を行う事） （バッテリー交換等推奨する交換期限がある物については、その期限毎に更新すること）	20
拡張する際の工事費用	工事要求水準書記載の「将来クラウド監視装置への取込を検討している施設」を全て取り込みする際の工事費用（拡張する施設のみ） ※既設電気盤は電源と機器の取付余地はあるものとする。 ※各種信号は電気盤の端子台より取込可能とする。 ※非常用発電機が無い施設についてはUPSを設置すること。 （費用の内訳が分かるように具体的かつ簡潔に記載すること） （施設下見等を行わないため概算金額とする） （条件等は工事要求水準書に準じる）	10

<p>拡張後のランニングコスト</p>	<p>工事要求水準書記載の「将来クラウド監視装置への取込を検討している施設」を全て取り込みした後の20年間の維持費用（拡張する施設のみ）</p> <p>利用料＋回線料＋機器更新費用</p> <p>※利用する回線は今回黒田浄水場で選択する回線と仮定する</p> <p>※施設の場所（距離）により通信費用が変わる場合も黒田浄水場と同条件と仮定する</p> <p>（施設下見等を行わないため概算金額とする）</p> <p>（費用の内訳が分かるように具体的かつ簡潔に記載すること）</p> <p>（機器については最低15年に1回更新すること）</p> <p>（バッテリー交換等推奨する交換期限がある物については、その期限毎に更新すること）</p> <p>（条件等は工事要求水準書に準じる）</p>	<p>20</p>
---------------------	--	-----------

2 書類評価項目、技術評価項目の評価点の算出方法

図－3 に示す5段階評価により審査内容に示した項目別に得点を少数点第一位まで算出し、その合計を評価点とする。

図－3 評価点の得点化方法

評価	評価の度合い	得点化方法
A	特に優れている	配点×1.0
B	優れている	配点×0.7
C	普通である	配点×0.5
D	優れているとは言えない	配点×0.3
E	優れていない	配点×0.0

(1) 評価点による失格の扱い

- ①各委員の評価点の平均が満点の4割未満の者は、要求基準を満たしていないと判断し失格とする。
- ②技術評価項目にて全委員の評価がEとなる審査内容が2つ以上ある者は失格とする。

(2) 価格評価項目の評価方法

- ①価格評価項目の評価点について、審査項目毎に下記のとおり得点化する。評価点は、少数点第二位を四捨五入する。

評価点＝配点×価格比

価格比＝最低提案価格÷当団体価格

- ②価格評価項目の各審査項目において0円の提案をした場合は失格とする。

(3) 優先交渉権者と次点優先交渉権者の決定

評価点の合計得点が一番高い者を優先交渉権者とし、次に高い者を次点優先交渉権者とする。

(4) 合計得点が同点となった場合の取扱い

技術評価の評価点が高い者とする。技術評価の評価点が同点であった場合は、本工事

後のランニングコストの低い者とし、さらに本工事後のランニングコストが同額の場合はくじにて優先交渉権者を決定する。

次点優先交渉権者についても同様とする。